

お申し込みの際には…

●FAXでお申し込みの場合は、この面を送信してください。

FAX/088-626-0833

●受付完了後、受講受付確認書をお送りいたします。

●不明瞭な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

TEL/088-626-0408

(切り取り)

お名前	ふりがな	郵便番号
ご住所 & 連絡先	〒 () () () FAX () () ()	
ご希望のコース	<input type="checkbox"/> 基本コース <input type="checkbox"/> 研究コース	

※個人情報については、当該事業以外には使用いたしません。
アンケートにご協力ください。

通信講座は何で(どこで)知りましたか?
 初めて 何度か経験がある 趣味でしている 染めの仕事をしている
 その他 ()

募集要項

募集受付 平成30年1月10日(水)から先着順に受付
 募集人員 50人(定員になり次第締め切らせていただきます。)
 講座期間 平成30年3月～平成30年12月(10ヶ月間)
 コースの選択 ●基本コース 今回初めて参加される方へ(毎月1回で全10回)
 ●研究コース 当通信講座の受講経験があり、様々な染めの技法を使って作品づくりを楽しみたい方へ(2ヶ月に1回で全5回)

受講料 基本コース・研究コースとも 35,000円
 ガイドブック・テキスト・教材を含みます。
 研究コースはガイドブックが付属しません。

テキスト及び教材 最初にお送りするものは次のとおりです。(3月中旬発送)
 ●ガイドブック(講師著書の「阿波の草染染色」B5判改訂版)
 ●テキスト(A4判)
 ●第1回目の教材(藍の種など)
 ●質問用紙(10枚)
 ●資料等を綴じるファイルなど
 *テキストはホームページ上で随時公開してまいります。

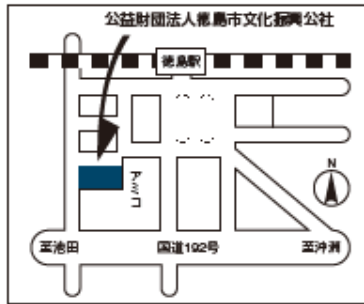
申込方法 必要事項を記入のうえ、受講申込書をFAXしていただくか、電話、e-mailでお申込みください。
 受付ができ次第、受講受付確認書をお送りいたします。

受講料の支払方法 第1回目のテキスト等をお受取になるときに、代金引換でお支払ください。

※ご不明な点は下記までお問い合わせください。
 [受付時間/AM9:00～PM5:00]

◆休館日：毎月第1火曜日◆

ご案内



公益財団法人
 徳島市文化振興公社
 〒770-0834
 徳島市元町1丁目24番地
 TEL(088)626-0408
 FAX(088)626-0833
 tuushin@cf.civic-center.jp

ホームページ <http://www.civic-center.jp/>



基本コース・研究コース



阿波の伝統工芸「藍染め」を
 自宅で体験してみよう。

講師 **アキヤマセイコ**
(自然染色研究家)

1934年生まれ、愛媛県出身。
30代迄はニットのデザイナー。40代より植物採集をきっかけに草木染めを始め、その後藍色に魅せられ藍の研究に取り組む。50代で藍生葉の染色に独自の道を開く。
現在、徳島市文化振興公社、阿波和紙伝統産業会館等で染色指導の傍ら、自然染「SHIBUKOYA」を開設。著書に「阿波の草染藍色」徳島県阿波市在住



子供との植物採集がきっかけとなって草木染めの道に入ったのは、40才を過ぎてからでした。それまでニットのデザイナーをしていましたので、糸を素材に片端から草で染めてみました。その後、藍の香りと色に魅せられて藍の世界に入ったのです。藍師 新居 修氏の下で藍染の研究に取り組むことができ、染色の心や技術を学ばせていただきました。

また、自分で藍作りから染めまで出来る生葉に興味を覚え、20年近く取り組んできました。途中、生葉の煮出しによって赤色が染まることに気づきましたが、安定性が悪く、研究を繰り返しました。その結果、自然発酵で次々と赤や紫、灰、茶、緑色等媒染剤なしで染められるようになりました。

草木染めの世界の念願であった「日本で育った植物で様々な色を染める」という夢を実現することとなったのです。

今回、藍染通信文化講座は18回目となりました。これも多くの皆様が熱心

に受講して下さいましたおかげと、心より感謝致しますとともに、多くの方が染めを生きがいでして毎日の生活に励んでおられる事を喜んでおります。

第10回からは、技術面についてもう少し踏み込んでお手伝いしたいと思うようになり、デザイン性を重視し、それにあった技法を選び「楽しく着る作品づくり」をテーマに、研究コースを開設しております。

今回で18回を迎えますが、昨年は自作のすくもで美しい色を出す方法を新たに発見しました。紫紺のしずくと名づけて、美しい華を咲かせていくことに致します。生命のかぎり。

基本コースカリキュラム(全10回)

3月	4月	5月	6月	7月
<p>藍の種を植える</p> <p>藍草からいろいろな色を染めるため、種を返りますので解凍してください。 作り方は詳しくテキストで説明しています。実際に必要な量を収穫してください。 3㎡四方以上の量があります。</p>	<p>布を絞る</p> <p>絞りの技法の種類を解説します。藍染のために用意しましょう。</p>	<p>リュウキュウ藍を育てて染める</p> <p>沖縄やインド、中国等々で育っている藍で、多年草です。この藍は寒さに強いので、ハウスや室内で冬を過ごし、春に外に出して木で増やし、様々な方法で染めます。</p>	<p>沈殿藍の作り方と染め方</p> <p>①リュウキュウ藍やタダ藍を使って藍を沈殿させる方法です。図解と実習を行います。 ②それ以外に新し(塩)を使って沈殿させる方法を図解実習します。</p>	<p>藍生葉で青を染める</p> <p>藍生葉をミキサー方法、塩揉み方法等で、紺と木綿を染める実習をします。 データ用の見本も、実習用の生地をお送りします。</p>
8月	9月	10月	11月	12月
<p>生葉で七色を染める</p> <p>①ウールの原毛や絹糸を湯漬にして染める方法です。 ②藍の生葉を発酵させて水に浸け、その液を使って染めます。</p>	<p>すくもを作る</p> <p>藍の乾燥葉を使って、少量のすくもを作ります。</p>	<p>すくもを藍建てする</p> <p>自作のすくもを使って藍建てし、染めます。</p>	<p>沈殿藍を使って描く</p> <p>沈殿藍を塗って、文字や絵を描きます。</p>	<p>藍の色止めの一つとして柿染</p> <p>藍のさまざまな方法で7つの色を染めました。型染めの技法で、インテリアを作ります。</p>

研究コースカリキュラム(全5回)

3~4月	5~6月	7~8月	9~10月	11~12月
<p>絞りを擦り込む</p>	<p>絞りを染める</p>	<p>ろうけつ染め</p>	<p>和紙の染め</p>	<p>藍のグラデーション</p>

研究コースでは、今までに習得した技術をもとに、作品づくりを解説していきます。
今回は絞りの技法と染め方を2回行います。また、和紙の染めや、ろうけつ染めなどに取り組んでいきましょう。

受講者の声

大畑 よし子 様(宮崎県在住)基本コース

70歳を前にして新たな挑戦をと思っていた時、偶然目に止まったこの講座。藍ってどんな植物だろう。植えてみたい。それからの出発でした。最初は藍とタダの区別がつかず、沈殿藍はごちゃ混ぜでした。スカーフの生葉染め、湧き水で洗っていると突如色が変わり、風に吹かれると深い緑藍に染まった感動は忘れられません。自然が持つ不思議な力に魅せられて、一歩ずつ学んでいきます

閑林 美圭 様(兵庫県在住)基本コース

毎年、藍を育てて生葉染めを行っていましたが、もっと藍染めについて深く学びたいと思い、受講しました。毎回送られてくる教材に刺激され、新たな発見や驚きを体験することができました。またベランダ栽培のため、あまり量産できないことを相談すると、藍を送ってくださり、たくさんの実験をすることができました。この経験を来年、再来年の学びにつなげていきたいです。

前垣 佳代 様(広島県在住)研究コース

一昨年、昨年と基本コースを受講し、今年は研究コースを受けさせていただきました。以前より藍染めをしていましたが、藍染の基本、広がり、深まりを学ぶことができたと思います。スクーリングでは沢山の藍を愛する方々との出会いがあり嬉しく思いました。アキヤマ先生、スタッフの方々、事務局の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

スクーリング風景

シビックセンター・新居製藍所(平成29年11月)

